

原子力広報を振り返って

その課題および社会との新たな信頼関係
つくりを目指して

2008/03/04

榊本 晃章

大いなる反省

そして、後輩の皆さんに
考えてもらいたいこと

1 原子力開発には、常に、 異論・異説があった

(1) 原子力広報は、一貫して
“世論獲得競争”だった

(2) “説得”ではなく
“共感”と“納得”を

2 “世の中 皆 同じ意見ばかり”

というのは 変ではないか
それを期待していないか

3 自分たちと同じ意見を良しとし 異なった意見を悪しとしてい ないか

4 コミュニケーションの基本

- (1) “言いたいこと”、“伝えたいこと”で、“頭がいっぱい”、“言葉がいっぱい”ではないか
- (2) プレスリリースや説明書は 商品の“取扱説明書”と同じか
- (3) “理解を得る”ということは どのようなことか
- (4) 届かないメッセージ
- (5) 届く訴え 理解される広報に欠かせない
“相手を知り、己も知る”こと